



カトリック中央協議会  
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

# 会 報

《2012年1月号（487号）》

## 目 次

### 報 告

・特別臨時司教総会 .....	1
・常任司教委員会 .....	2
・社会司教委員会 .....	3
・典礼委員会 .....	3
・学校教育委員会 .....	4
・難民移住移動者委員会 .....	5
・カリタスジャパン .....	7
・正義と平和協議会 .....	9
・部落差別人権委員会 .....	12
・外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会 .....	14
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク .....	15
・中央協議会事務局（総務） .....	16
高山右近の殉教の声望に関する公聴会 開催公示 .....	17

## 特別臨時司教総会

### ■2011年度第2回特別臨時司教総会

日 時 2011年11月8日（火）13:00-15:30  
場 所 仙台ガーデンパレス（宮城・仙台市）  
出席者 会 員 17人  
司教総会事務担当スタッフ 3人

## 審 議

原子力発電に対する司教団メッセージについて

本司教総会での諸意見に基づき修正した原子力発電に対するメッセージを司教団メッセージとすることを承認した。

## 常任司教委員会

### ■11月定例常任司教委員会

日 時 2011年11月2日(水) 10:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 6人

## 報 告

### 1. 駐日教皇大使着任について

2011年10月20日(木)に、新しい駐日教皇大使のジョゼフ・チェノットゥ師が着任した。日本の司教方と一日も早く会いたいとの新大使の要望から、日韓司教交流会の1日目の夕食および2日目のミサと夕食をともにする。

### 2. FABC中央委員会について

2011年10月19日-21日に開催されたFABC中央委員会に参加した池長会長より会議報告が行われた。2012年11月19日-25日まで開催されるFABC総会をベトナムで行うことが確定し、日本から会長以外1名の代表参加者を選出するよう通知された。規約上では会長以外2名の代表を送ることになっているので、確認後、司教総会において、選出を行う。

### 3. 「信仰年」開催について

教皇ベネディクト十六世は、2011年10月16日(日)にサンピエトロ大聖堂で司式した教皇庁新福音化推進評議会主催第1回国際会議の閉会ミサの説教の中で、特別年の「信仰年」(Year of Faith)を開催することを発表した。「信仰年」は、第二バチカン公会議開幕50周年の2012年10月11日に始まり、2013年11月24日の王であるキリストの祭日に終わる。

### 4. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。10月27日現在の募金状況は、593百万円となった。

### 5. 中央協議会の口座に入金された義援金について

10月31日現在、中央協議会の口座に入金された東日本大震災関連の義援金とその用途に関する報告が行われた。義援金総額は72,699,927円、支出合計は、13,288,145円、残高は59,411,782円となった。

## 審 議

### 1. 原子力発電に対するメッセージについて

本常任司教委員会で一部修正を加えた、原子力発電に対するメッセージ(案)を、2011年度第2回特別臨時司教総会で司教団メッセージとするために審議することを承認した。

### 2. 11月開催の特別臨時司教総会の議案確定について

2011年度第2回特別臨時司教総会の内容を以下のとおり確定した。

第1号議案 本司教総会書記選出の件

第2号議案 本司教総会の取り扱い事項確定の件

第3号議案 原子力発電に対する司教団メッセージに関する件

3. 2012年度日本カトリック司教協議会年間行事日程案作成について  
2012年度の司教総会の日程案を以下のとおりとし、2011年度臨時司教総会において確定する。また、常任司教委員会の日程を確定した。  
2012年度定例司教総会：2012年6月19日（火）－23日（土）  
2012年度臨時司教総会：2013年2月18日（月）－22日（金）  
2012年度特別臨時司教総会予備日：2012年10月5日（金）
4. UCANからの援助依頼について  
2011年度まで行っていたUCANに対する年額50万円の援助を、継続して2014年まで行うことを承認した。
5. 2012年度予算編成要項について  
財務委員会から提出された「2012年度予算編成要項」を承認した。

## 社会司教委員会

### ■司教秘書合同会議

日 時 2011年11月2日（水）15：00－19：00  
場 所 日本カトリック会館 会議室2  
出席者 13人

### 報 告

1. 社会司教委員会冊子編集状況
2. 各委員会からの報告

### 審 議

1. 2011年度司教のための社会問題研修会について  
12月15日（木）－16日（金）の二日間、「聖職者による未成年者への性虐待に対応するためのガイドライン作成に向けて」をテーマに研修会を開催する。講師は、坪井節子さん（弁護士・カリヨン子どもセンター理事長）と中島幸子さん（DVコンサルタント・レジリエンス代表）の二人。今回は対象を教区担当者にも広げ、司教とともに分かち合う時間を設ける。なお、二日目のガイドラインの検討は司教のみの参加とする。11月2日現在の申し込み状況は、司教11人、修道会総長管区長会1人、教区担当者4人となっている。
2. 2012年度活動計画について
  - ①2012年10月6日－8日の正義と平和全国集会長崎大会において社会司教委員会のシンポジウムが開催できるかを実行委員会に諮る。その他、大阪教会管区、東京教会管区においてシンポジウムを開催する方向で検討する。
  - ②平和旬間に米国のサバラ司教を招待する件を承認した。
  - ③上記を踏まえ、事務局が予算を作成する。

## 典礼委員会

### ■定例会議

日 時 2011年11月14日（月）10：00－14：10

場 所 日本カトリック会館 会議室 3  
出席者 9人  
欠席者 2人

## 報 告

福者ヨハネ・パウロ 2 世の記念日（10 月 22 日）を日本の典礼暦に追加

福者ヨハネ・パウロ 2 世教皇の記念日（10 月 22 日）を日本の典礼暦に加えることについては、2011 年 7 月 7 日付で日本カトリック司教協議会から教皇庁典礼秘跡省に申請していた。2011 年 10 月 3 日付で典礼秘跡省の承認を得たため、本年 10 月 22 日から「任意の記念日 (memoria ad libitum)」として記念することができるようになった。

## 審 議

### 1. 2011 年度全国典礼担当者会議について

本年 9 月に開催された掲記会議（テーマ：典礼の空間）のアンケート結果に基づき検討した。次回、前年度のアンケート結果と合わせて来年度のテーマ等を検討する。

### 2. 「朗読福音書」について

発行準備中（発行日未定）の掲記朗読書について、装丁、緒言、受難朗読の本文の検討を行った。

### 3. 女性の祭壇奉仕について

掲記事項についての経緯を確認した結果、1994 年に教皇庁典礼秘跡省から各司教協議会会長に送られた書簡について、常任司教委員会で報告し内容を確認することとなった。

### 4. 外国語の典礼書の使用について

本年 11 月 27 日（待降節第 1 主日）から、英語圏では新しい『ミサ典礼書』が使用される。これを受けて、日本において英語のミサを行う際、どの国で発行された英語版の『ミサ典礼書』を使用するかについて検討した結果、英語を含む外国語の典礼書を用いる際の原則について、常任司教委員会で報告することとなった。

### 5. 出版部からの検討依頼事項

出版部から検討を依頼された事項（『ミサ以外のときの聖体拝領と聖体礼拝』（重版）、『別冊 毎日のミサ 聖週間と聖なる八日間』（重版）、典礼音楽関連の公文書など）について検討を行った。

次回定例会議 2012 年 1 月 16 日（月） 13:30-17:30 カトリック横浜司教館

## 学校教育委員会

### ■第 129 回 学校教育委員会

日 時 2011 年 10 月 28 日（金）15:00-17:00  
場 所 日本カトリック会館 会議室 4  
出席者 9人

## 報 告

品田委員より、「日本カトリック学校連合会の動き」について

## 審 議

「第 25 回 校長・理事長・総長管区長の集い」で扱う内容について

・1 日目は、『キリスト教理解のために』について、2 人の講師の講演と、アンケートなどを基に、具体的

な利用例などを扱う。

- ・2日目は、「カトリック学校の存廃問題に対する司教団の対応規定」（2001年6月承認）等、司教団が承認した文書を扱う。

これについては、2月の臨時司教総会において、有効であることの確認と、「集い」で採り上げることを報告する。

次回会議 2011年12月19日（月）15:00-17:00 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

## 難民移住移動者委員会

### ■2011年度 第6回事務局会議

日 時 2011年10月6日（木）15:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 5人

#### 報 告

##### 1. 「AOS 四日市港研修会」について

9月10日（土）、カトリック四日市教会（京都教区）で開催され、40人の参加者があった。午前中は、AOS コアメンバーによる活動概要や船員たちの現状の話に続き、船員3人を招き実際の話聞くことができた。午後は、四日市港ポートビル（三重・四日市市）を訪ね、港を一望出来る展望室に行った。今後の活動への広がり可能性が感じられる研修会となった。

##### 2. 「ブラジル人司牧者・協力者の集い」について

9月13日（火）-15日（木）、日本カトリック会館マレラホールで開催され、ブラジル人司牧に携わっている司祭、修道女、信徒20人が集まった。一日目は司牧の現状や今後の課題について分かち合った。二日目は、グループに分かれてリーダー養成について話し合い、各グループから出された計画を、全体会で小教区、教区、全国レベルに振り分け、来年度の計画を作成した。

##### 3. 「仙台教区における滞日外国人司牧の基本方針を確認する会議」について

9月16日（金）、仙台教区本部事務局会議室で開催された。松浦司教、仙台教区司祭、淳心会司祭、フィリピン人信徒宣教師など15人が出席した。震災後、教会に集うようになった滞日外国人信徒（主にフィリピン人）の司牧について、現状の報告、またこれからの基本的な司牧方針の話し合いが行われた。10月に大船渡に派遣される淳心会の二人の司祭が、難民移住移動者委員会仙台教区担当者の佐藤 修師と相談しながら、フィリピン人司牧の調整をすることになった。

##### 4. 「改定入管法」学習会について

2012年7月より施行される改定入管法の学習会をRAIK（在日韓国人問題研究所）所長の佐藤信行氏の協力を得て、下記のスケジュールで開催を予定。

- ・10月10日（月）午後 名古屋みこころセンター（愛知・名古屋市）（名古屋難民移住移動者委員会共催）
- ・11月28日（月）午後 日本カトリック会館（「全国担当者会議」プログラムとして）
- ・11月29日（火）午後 横浜司教館（神奈川・横浜市）
- ・1月29日（日）午後 カトリック静岡教会（横浜教区）
- ・2月11日（土）午前 熊本マリスト学園（熊本市）（「長崎教会管区セミナー」プログラムとして）

##### 5. 「AOS 船員司牧全国会議 in 大阪」について

10月13日（木）-14日（金）、大阪サクラファミリアセンター（大阪市）内会議室において開催される。会議参加予定者は、26人。

##### 6. 「全国研修会 in 岡山」（2月8-10日）の進捗状況について

10月1日(土)、カトリック岡山教会(広島教区)で「第三回 全国研修会準備会」が行われた。第二回までの準備会で決定していたテーマやスケジュールについて、見直し・修正等を行った。

7. 「AOS 特別基金」支援支払い決定について

AOS 全国担当者の金 順鎬さんより9月26日付の調査書が提出され、岩手県綾里漁業組合内の16世帯に被災支援金として160万円がAOS 特別基金から支払われることが決定した。

8. その他

- ・「AOS 東京港研修会」は、10月11日(火)に開催される。
- ・12月発行予定のクリスマス瓦版の寄稿者について、確認を行った。

## 審 議

1. 「第3回定例委員会」の議題について

11月28日(月)午前で開催される「第3回定例委員会」の議題について、詳細確認を行った。

2. 「全国担当者会議」の詳細について

11月28日(月)午後-29日(火)に開催される「2011年度 全国担当者会議」のスケジュールやプログラム等について、詳細確認を行った。

3. その他

- ・2012年度事業計画の概要には、年度内対処の緊急課題が見込まれるため、例年「世界難民移住移動者の日」広告を掲載している広告宣伝料を削減し、緊急課題のための予算に充てる。

## ■FRJ(なんみんフォーラム)2011年度第3回会議

日 時 2011年10月24日(月) 14:00-17:30

場 所 イエズス会 岐部ホール(東京・千代田区)

出席者 カトリックから1人

## 報 告

1. 難民円卓会議の報告
2. 収容所代替措置勉強会等に関する報告

## 審 議

1. 国連閣僚会議でのプレッジ(国家誓約)への対応について
2. 作業グループについて
3. 2012年度予算について

## ■難民・移住労働者問題キリスト教連絡会 2011年第6回運営委員会

日 時 2011年10月27日(木) 15:00-18:00

場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

## 報 告

1. 日本キリスト教協議会より
2. 「収容の代替措置に関するワークショップ」について
3. 被収容者面会の報告
4. 2011年度前半の会計報告

## 審 議

1. 国際移住労働者デー記念シンポジウム（12月17日）について
2. 移住連各省庁交渉について

### ■1951年難民の地位に関する条約採択60周年及び日本の難民条約加入30周年記念シンポジウム

#### 「明日へのチカラ、どうする日本」

日 時 2011年11月17日（木）13：30－17：30  
場 所 国連大学本部 ウ・タント国際会議場（東京・目黒区）  
主 催 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）  
共 催 外務省、法務省、独立行政法人国際協力機構  
参加者 約300人  
出席者 カトリックから1人

シンポジウムは二部構成で、第一部「難民保護と人道支援における日本の役割：成果と課題」では、山根隆治外務副大臣、緒方貞子国際協力機構理事長、アントニオ・グテーレス国連難民高等弁務官など7人の講師がそれぞれの立場から、日本がこれまで取り組んできた難民保護及び人道支援の軌跡を振り返り、今後の地球規模の課題を含めた日本の役割について講演した。第二部パネルディスカッション「世界が直面する自然災害の脅威、増加する避難民-日本の役割」では、緒方貞子さん、アントニオ・グテーレスさん、加藤敏幸外務大臣政務官、そして柳井 正株式会社ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長が、3月11日の大震災を経験した日本がこれから世界の中でどのような役割を果たすことができるのかを議論した。世界中で同時多発的に起こる天災や紛争によって多くの難民が発生している状況の中で、大震災を体験した日本が果たす役割は大きく、これからの若者への期待が語られた。

### ■UNHCR 高等弁務官との意見交換会

日 時 2011年11月18日（金）9：30－10：30  
場 所 UNHCR 駐日事務所 会議室（東京・渋谷区）  
参加者 NGOより21人  
出席者 カトリックから1人

アントニオ・グテーレス国連難民高等弁務官来日に伴い、高等弁務官とNGOとの意見交換会が11月18日に開催され、国内外のNGO合計17団体、21人が参加した。高等弁務官による世界の難民の現状、また12月にスイスのジュネーブで行われる閣僚会議についての説明に続き、各NGO代表者によるプレゼンテーションがあった。その後、意見交換が行われ、特に、UNHCRとNGOとの協働について活発な意見交換があった。

## カリタスジャパン

### ■第4回カリタスジャパン啓発部会会議

日 時 2011年10月31日（月）11：00－15：00  
場 所 日本カトリック会館 会議室2  
出席者 13人

## 報 告

### 東日本大震災関連について

#### ・ボランティア活動

これまでに仙台教区サポートセンターを通して約 3,000 人のボランティアが活動に参加した。宮古ベース（札幌教区）、大槌ベース（長崎管区）、いわきベース（さいたま教区）、東京教区ボランティアセンターも合わせると、約 4,000 人のボランティアが参加したことになる。活動内容も、がれき撤去・泥かきから、相互交流による心のケアに移ってきている。

#### ・シスターズリレー

「シスターズリレー」と称して、9 月末までに 25 の修道会から約 200 人のシスターが、ボランティアベースに赴きスタッフとして活動に参加した。

#### ・募金

募金金額は、593 百万円（10 月 27 日現在）。援助金支出は、仙台教区サポートセンターが行う救援活動、各地で行われる援助プロジェクト合わせて 217 百万円（10 月 24 日現在）。今後も数年かけて、復興に向けた支援を継続していく。

## 審 議

### 1. 第 3 回啓発部会の議事録を承認

### 2. 啓発部会 2012 年度予算案作成について

2012 年度の主たる活動として、①小冊子「自死の現実を見つめて」に関する意見・感想をまとめた印刷物の発行、②自死の勉強会・分かち合いの全国展開の継続を確認した。

### 3. 東日本大震災と啓発部会の取り組みについて

冬に入り、ますます被災者が仮設住宅から外出する機会が少なくなる。電話相談機関などを記したカードを作成し配布するなど、啓発部会としてできることを検討し進めていく。

### 4. 「つなぐ 2012」について

四旬節小冊子「つなぐ 2012」の原稿の精査、意見交換を行った。

### 5. 小冊子意見集のまとめ方について

次回継続審議となった。

## 次回日程

### 2011 年度第 5 回啓発部会

2012 年 1 月 10 日（火）13:00-16:00

### 2011 年度第 6 回啓発部会

2012 年 3 月 14 日（水）13:00-16:00

## ■第 4 回カリタスジャパン委員会会議

日 時 2011 年 11 月 4 日（金）10:00-16:00

場 所 日本カトリック会館 会議室 2

出席者 11 人

## 報 告

### 1. 啓発部会

前項参照

### 2. 援助部会

#### (1) 東日本大震災対応

現在、釜石と米川の 2 つのベースでボランティアを受け入れている。がれき除去、仮設住宅での傾聴活動などを実施している。今後冬に向けての支援や生活再建復興プロジェクトも進行中。3 教会管区によ



る支援体制も軌道に乗ってきている。

(2) 援助実績と海外新規案件の処理状況

以下の5件への支援を決定した。

- ① エリトリア「緊急栄養プロジェクト (EA20/11)」10,000 ユーロ
- ② ソマリア「難民への水と衛生支援 (EA21/11)」10,000 ユーロ
- ③ パキスタン「洪水災害緊急支援 (EA23/11)」30,000 US ドル
- ④ カンボジア「洪水災害緊急支援 (EA24/11)」10,000 US ドル
- ⑤ フィリピン「台風災害緊急支援 (EA25/11)」10,000 ユーロ

3. 8-9 月度収支報告および募金報告

審 議

1. 2012年度予算案承認

前年度予算からの大きな変化は、東日本大震災への対応。復興支援活動を盛り込んで、2012年度予算案をまとめる方向が承認された。

2. 2012年四旬節キャンペーン大綱承認

3. 以下2件の出版企画案承認

- ① 東日本大震災1周年カリタスジャパン活動報告書
- ② 四旬節小冊子「つなぐ2012」

4. 援助審査 3件（国内一般1、海外一般2）を審査し、全件を承認した。

- ① カトリック草津教会国際協力部「外国人支援活動」1,000,000 円
- ② ネパール「子どもの教育センター支援」13,665 US ドル
- ③ ヨルダン「コミュニティセンター支援」20,000 US ドル

5. 国際カリタス緊急支援要請 (Emergency Appeal/EA) 以下1件の支援を決定した。

南スーダン「LRAの攻撃による避難民支援 (EA26/11)」10,000 ユーロ

次回日程 2012年1月24日（火）11:00-15:00

## 正義と平和協議会

### ■事務局会議

日 時 2011年11月7日（月）11:00-13:00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 6人

### 報 告

1. 2012 正義と平和全国集会長崎大会について

2012年10月6日-8日に決定した。

2. 九条アジア宗教者会議関係

12月5日-8日、韓国済州島で済州島基地建設問題に関する日韓連帯会議が行われ、大倉一美事務局長と通訳として後藤正史師（広島教区）が参加する。

3. 正義と平和講演録 Vol.5『国是と信教の自由-入門・憲法20条』を発行した。

4. 全国会議講演会準備進捗状況

2012年2月24日13:00-25日14:00まで全国会議を行う。その後15:30より公開講演会を下記のように行う。

講師 澤井正子さん（原子力資料情報室）

場所 カトリック麹町教会 ヨセフホール（東京・千代田区）

5. 『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない！』リーフレットについて、10月18日にリーフレット作成チームと会合を持ち、今後の増刷、配布について検討した。
6. 各種活動賛同状況
7. 国際会議
  - ・正義と平和担当司教対象の「教会の社会教説と司教の集まり」（11月4日－10日、タイ・バンコク）は、洪水のため来年1月に延期となった。深水正勝師（東京教区）が参加の予定。
  - ・SICSAL（ラテンアメリカ民衆と連帯するキリスト者国際会議）の年次会議が2012年2月4日から11日まで、メキシコで開催予定。ホセ・ロペス師（グアダルペ宣教会）が参加予定。

#### 審 議

1. 2012年度予算と事業計画を検討。
  - ・社会的靈性を深めるための練成会を6月に企画する。
  - ・ピース9の会10周年なので、講演会等を企画する。
  - ・済州島基地建設反対運動へ連帯する。
  - ・冊子の作成についての企画
    - 20条の部会が企画している奄美大島でのシンポジウムと、来年度企画予定の『聖堂の日の丸』に関する講演会をもとに、奄美大島での信教の自由と迫害に関する内容にする。
2. 定例会議（11月22日）の議案について

#### ■死刑廃止を求める部会

日 時 2011年10月28日（金）18：30－19：30

場 所 イエズス会 岐部ホール（東京・千代田区）

出席者 5人

#### 審 議

1. 今後の部会活動について
  - ・会議は必要に応じて岐部ホールで行う。
  - ・延期していた映画上映会を来春行う。
  - ・死刑廃止部会の紹介パンフレットを作成する。
2. ニュースレター内容の検討
3. 来年度活動予定

#### ■20条の部会

日 時 2011年11月22日（火）14：00－16：00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 6人

#### 報 告

1. 正義と平和講演録 vol.5『国是と信教の自由』を会員に配布した。
2. 12月10日の靖国神社見学学習会は、他集会と重なるため延期する。
3. 宗教学学会シンポジウム「砂川政教分離裁判とその後」にオブザーバー参加したので、内容を報告。

## 審 議

1. 2012年度の活動計画
  - ・奄美大島ツアーについて  
2012年3月3日-5日 「奄美大島巡礼-奄美のキリスト教迫害と信教の自由を考える」  
3日にシンポジウムを行い、記録を冊子にまとめる。
  - ・名古屋教区でシンポジウムを開催するにあたり、現地の正義と平和協議会と検討を行う。
  - ・正義と平和全国集会長崎大会での分科会実施について
2. 現地学習会「靖国神社と遊就館」は2月4日に行う。講師は木邨健三さん。

### ■NCC 平和・核問題委員会

日 時 2011年10月17日(月) 10:00-12:30

場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

## 審 議

1. JEDRO(日本キリスト教協議会エキュメニカル震災対策室)との話し合いについて  
国際会議開催に向けて検討を行う。
2. 第2回脱原発フォーラム「事故がなくてもいのちを奪う原発」の振り返り  
9月17日開催の上記フォーラムの総括を行う。
3. 声明文の検討

### ■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2011年11月7日(月) 18:00-20:00

場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから2人

## 報 告

1. 各教派、団体からの報告
2. 上半期会計報告

## 審 議

1. 声明文、要請文の文案を検討
2. 次期委員長、常任委員、役職(書記、会計)の選出について、常任委員会の推薦者を報告。
3. Xデー・即位礼・大嘗祭問題 Q&A の冊子作成の予定、編集プランを検討し、承認。
4. 学習会「Xデー・即位礼・大嘗祭に向けて 第6回目」

### ■平和を実現するキリスト者ネット

日 時 2011年11月17日(木) 15:00-17:00

場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

## 報 告

1. 会計、賛同状況

## 2. 集会・行動の報告

第94回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動（平和をつくりだす宗教者ネットより）

2011年10月28日（金） 12：00－衆議院第2議員会館第6会議室で集会

12：45－13：15 首相官邸前祈念行動

署名提出 505筆 総数 87,122筆

## 3. 第24回運営委員会（10月21日）の報告

### 審議

1. 第95回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動（11月25日）要請メンバーについて
2. ニュースレター123号（1・2月合併号）について
3. キャロリング・フォー・ピースについて

2011年12月16日（金）、東京ユニオンチャーチで実施予定。内容を検討した。前日に日本キリスト教会館会議室で準備作業を行う。

## 部落差別人権委員会

### ■事務局会議

日時 2011年11月4日（金）13：00－15：00

場所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 6人

欠席者 1人

### 報告

1. 「第24回人権啓発東京講座」について
2. 長崎教区福音化推進部人権委員会主催のシンポジウムについて
3. 「部落解放・人権文化フォーラム2011」について

部落解放・人権文化フォーラム実行委員会が11月21日（月）－22日（火）に「部落解放・人権文化フォーラム2011」を開催する。1日目は浅草公会堂ほか（東京・台東区）で全体会と分科会、2日目は八王子市（東京）でフィールドワーク「八王子市の被差別部落」を行う。

4. 狭山事件の再審を求める市民集会について

狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会が、12月1日（木）13時から日比谷野外音楽堂（東京・千代田区）で集会を開催する。

5. 大阪教会管区部落差別人権活動センター

- (1) 対話集会について

「『忌避意識』脱常識の部落問題」をテーマに10月9日（日）－10日（月）、大阪梅田教会（大阪教区）で対話集会を開催した。講師は、灘本昌久さん（京都産業大学教授）と朝治武志さん（大阪人権博物館学芸委員）。

- (2) 現地学習会「田中部落における歩み 今・昔」について

11月12日（土）、田中西部いきいきセンター（京都市）で現地学習会を開催する。

### 審議

1. 全国会議について

11月4日（金）－5日（土）のスケジュールを確認し、全国会議に提案する「福島差別を許さない緊急アピール（案）」について審議した。

## 2. 2012年度の計画について

### (1) 夏季合宿

夏季合宿は広島教区（岡山地区または山口地区）で開催予定。日程については今後検討する。

### (2) ハンセン病市民学会

「第8回総会・交流会」が2012年5月12日（土）-13日（日）に国立療養所松丘保養園（青森市）などで開催されることについて審議。

### (3) シンポジウム福音と差別

2012年7月または9月に、大阪梅田教会（大阪教区）で開催予定。詳細については今後検討。

### (4) 全国会議開催日

全国会議を2012年11月4日（日）-5日（月）に開催する。

### (5) 春季合宿

2013年春季合宿の候補地は福島県とする。

## ■全国会議

日 時 2011年11月4日（金）17:00-5日（土）17:00

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 17人

## 報 告

### 1. 事務局報告について

事務局より、「日本カトリック部落差別人権委員会・活動記録」に基づいて今年度の活動を報告。

### 2. 各地の報告について

教区担当者・信徒活動団体代表者など、出席者全員がそれぞれ取り組んでいる部落差別問題やハンセン病問題の現状と課題を報告。

### 3. 分かち合い

テーマ 部落差別問題へのわたしたちのかかわりの原点

助言者 福岡ともみさん（NPOなら人権情報センター）

始めに、分かち合いの導入として福岡ともみさんが「部落民と差別」と題して講演。その後、出席者全員による分かち合い、グループでの分かち合いを行った。その後、福岡さんが感想とまとめを行った。自身の部落差別問題へのかかわり・体験に基づいて、「部落差別がもたらす自己概念、対人関係、世界観への影響」、「『過去』のとらえ方が変わると、『今』のとらえ方が変わる」、「自分自身のとらえ方が変わると、関係性が変わる」、「差別を怖れない関係性を構築し続けること」について語った。出席者からは、各自の体験や内省に基づく意見があった。

## 審 議

### 1. 啓発活動（シンポジウム・合宿など）のあり方について

部落差別人権委員会で毎年行っているシンポジウムと合宿研修について審議した。昨年から、開催地の主体性を尊重したやり方に変更したが、問題点も明らかになった。また、啓発冊子の必要性も挙げられた。

### 2. 「ハンセン病療養所将来構想」について

森元美代治さん（特定非営利活動法人 IDEA ジャパン）より、ハンセン病療養所の現状と「ハンセン病療養所将来構想」について説明があった。入所者の平均年齢は81.6歳（5月1日現在）、療養所の将来構想を具体化するためには支援者の力が不可欠であり、カトリックの人にかかわってほしいとの要望があった。

### 3. 「福島差別を許さない緊急アピール」について

事務局より「福島差別を許さない緊急アピール（案）」が提案され、審議。審議内容に基づいてアピール文を作成し、次回の定例委員会で結論を出すことになった。

## ■事務局会議

日 時 2011年11月24日（木）11：00－15：00

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 7人

### 報 告

1. 2011年度全国会議について
2. シンポジウム「『被曝』新たな被害をもたらすもの～福島原発について考える～」を、長崎教区福音化推進部人権委員会が11月27日（日）に長崎カトリックセンター（長崎市）で開催する。パネリストは佐々木宏人、山下俊一の各氏と太田 勝師。
3. 狭山事件の再審を求める市民集会について
4. 大阪教会管区部落差別人権活動センターからの報告

### 審 議

1. 春季合宿について（進捗状況の確認）  
2012年3月3日（土）－4日（日）に奈良県で開催する春季合宿の進捗状況を確認。合宿のテーマは「人権のふるさとを訪ねて～水平社博物館と、おおくぼまちづくり館～」。
2. 2012年度の計画について  
次年度の活動計画について審議。
3. 「福島差別を許さない緊急アピール」について  
全国会議で意見集約したものをまとめ、次回の定例委員会で提案する。

## 外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会（外キ協）

### ■外キ協事務局会議

日 時 2011年10月27日（木）18：00－20：00

場 所 日本キリスト教会館（東京・新宿区）

出席者 カトリックから1人

### 議 題

1. 東日本大震災の被災地における外国人状況の調査報告があった。それにともない11月8日（火）仙台で「外国人被災者に関するキリスト教連絡会」の報告会を開くことになった。
2. 第26回全国協議会の内容を検討し以下の概要で進めることになった。

日時 2012年1月26日（木）－28日（土）

場所 在日本韓国YMCA（東京・千代田区）

テーマ 「新外キ協結成総会」

外登法の改定にともない、本会の名称「外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会（外キ協）」を「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会（外キ協）」に名称を変更するため、この結成総会となる。

講演は、李 清一さん（在日韓国基督教会館館長）、西原廉太さん（立教大学副総長）、宣 元錫さん（中央大学兼任講師）に依頼する。聖書研究他については未定。

3. 全国協議会後の第26回全国キリスト者集会は、関東外キ連の企画待ちとなった。
4. 改定入管法に関する勉強会が全国で行われているとの報告があった。

## ■外キ協事務局会議

日 時 2011年11月24日（木）18:00-20:00

場 所 日本キリスト教会館（東京・新宿区）

出席者 カトリックから1人

### 議 題

1. 「外国人被災者支援プロジェクト」について募金要請と今後の協力体制について討議。
2. 第26回全国協議会のプログラムと役割分担について検討。

日 時 2012年1月26日（木）-28日（土）

場 所 在日本韓国YMCA（東京・千代田区）

テーマ 「宣教課題としての他民族・多文化共生」

参加者 各教派・団体から代表者1名、各地外キ連から代表者2名、外キ協事務局、韓国NCC正義と平和委員会、韓国教会在日同胞人権宣教協議会の代表者 計30名

開催目的 ①26日は、新外キ協（外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会）の結成総会という位置づけとなる。

②外キ協運動25年間の到達点を確認し、新たな名称の下で「日本の歴史責任」および「外国人住民基本法（案）」の実現に向けて、キリスト教界が一致して意見と意志を表明する。

③東日本大震災の外国人被災者への支援の取り組みについて協議する。

④2012年7月から実施される改定入管法に対する批判と取り組みについて協議する。

⑤日・韓・在日教会の共同の取り組みの到達点を確認し、新たな共同課題を協議する。

記念講演 「日本のキリスト教界における外キ協運動」（李 清一さん）

「世界のエキュメニカル運動とこれからのアジア教会」（西原廉太さん）

聖書研究 川上直哉さん（仙台キリスト教連合被災者支援ネットワーク事務局長）

講演 「韓国の外国人政策・移民政策の進展」（宣 元錫さん）

特別講演 「韓国と日本の狭間で－韓国民主化運動、そして韓日連帯運動」（金 景南さん）

3. 全国協議会後の第26回全国キリスト者集会の企画について説明があった。

## 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

### ■定例会議

日 時 2011年11月18日（金）15:00-18:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 7人

### 審 議

1. 「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのガイドライン（案）」について

配布資料にもとづき、意見交換を行った。出された意見をもとに事務局で再度修正を加え、デスク委員に確認の上、「司教のための社会問題研修会」の参加者に配布する。

## 2. 司教のための社会問題研修会について

今回の「司教のための社会問題研修会」のテーマは、「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのガイドライン作成に向けて」。一日目は当デスク委員の中島幸子さんが講師の一人として「性暴力の影響」について講演する。日本カトリック神学院の神学生が聴講できるよう、事務局から神学院の伊藤幸史師（東京教区）に案内状を送付することになった。

# 中央協議会事務局

## ■総務

### 1 月会議予定

10 日（火）	カリタスジャパン啓発部会	日本カトリック会館
11 日（水）	2012 年度予算審査会	〃
12 日（木）	常任司教委員会	〃
12 日（木）	青少年司牧部門 YOUCAT 翻訳会議	真生会館（東京・新宿区）
13 日（金）	社会司教委員会司教秘書合同会議	日本カトリック会館
16 日（月）	典礼委員会定例会議	カトリック横浜司教館
17 日（火）	日本カトリック教誨師連盟全国大会	日本カトリック会館
20 日（金）	部落差別人権委員会事務局会議	〃
23 日（月）	「公式祈願」研究小委員会	〃
24 日（火）	カリタスジャパン委員会	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2012 年 1 月号 （通巻 487 号）

発行日 2011 年 12 月 20 日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457



**列聖列福特別委員会**  
**神のしもべ ユスト高山右近の殉教の声望に関する公聴会**  
**開催公示**

神のしもべ ユスト高山右近の殉教の声望に関する公聴会を下記のとおり開催することにしたので、ここに公示いたします。

日本カトリック司教協議会が列福運動を推進しているユスト高山右近の列聖事由が、従来の証聖者から殉教者に変更されました。これに伴い、当委員会の歴史部会は、列聖申請書のうち、右近の死が殉教であったことを示す箇所を、より詳細なものに改訂する作業を終えようとしています。教皇庁列聖省に提出する列聖申請書には、上記とともに、殉教した右近の生き方が、現代の教会にも脈々と息づいている事実、すなわち右近の殉教の声望を掲載する必要があります。今回開催する公聴会は、上記の声望についての証言を得るためのものです。

記

日時： 2011年12月8日(木)、同年12月21日(水) 13:00-16:00

会場： カトリック高槻教会 〒569-0077 高槻市野見町2-26

電話：072-675-1472 Fax：072-661-4815

**1. 公聴会役職者**

列聖申請権者	岡田武夫(東京大司教)
列聖申請権者代理司教	大塚喜直(京都司教・列聖列福特別委員会委員長)
公益保護官	赤波江豊(大阪教区司祭)
公証官	平林冬樹(イエズス会司祭)
公証官補	筒井砂(東京教区信徒)
公聴会秘書官	前田智晶(イエスのカリタス修道女会員)

**2. 証言者の氏名**

役職上の証言者(列聖列福特別委員会関係)

溝部脩(前高松司教・サレジオ会員)	片岡瑠美子(長崎純心聖母会員)
川村信三(イエズス会司祭)	筒井砂(東京教区信徒)
De Luca, Renzo(イエズス会司祭)	古巣馨(長崎教区司祭)
前田智晶(イエスのカリタス修道女会員)	

一般証言者

池長潤(大阪大司教・イエズス会員)	野村純一(名古屋司教)
池山達真(大阪教区信徒)	後藤光男(京都教区信徒)
日向育子(高松教区信徒)	川邨裕明(大阪教区司祭)
木越邦子(名古屋教区信徒)	S. C. Bontacchio(カルメル会司祭)
松本秀樹(大阪教区信徒)	片岡千鶴子(長崎純心聖母会員)
高祖敏明(イエズス会司祭)	岡本稔(大阪教区信徒)
青山玄(神言会司祭)	Ernie A. de Pedoro(マニラ教区信徒)

証言者への聴取は個別に行い、個別の聴取の日程は、別に決定します。

聴取に基づいて調書を作成し、証言者本人と公証官が、これに署名捺印します。